

JSR、2012年度版 CSR レポート（日本語版）を発行

JSR 株式会社（社長：小柴満信）は、2011年度の JSR グループの CSR（企業の社会的責任）に関する取り組みをまとめた「JSR グループ CSR レポート 2012」を発行しました。英語版は9月に発行する予定です。

本年度は、特集のテーマを「グローバルな課題に対して JSR グループが果たす役割」としました。社外有識者との対談も交え、JSR グループの目指す方向性と現在の取り組みを具体的な事例で紹介しています。活動報告については、経営方針に準じて「ステークホルダーへの責任」別にまとめています。未来に向けた当社グループのさまざまな取り組みを本 CSR レポートにおいてご報告いたします。

本レポートは、JSR 単体および国内外のグループ企業を含む JSR グループ全体（連結子会社全30社および持分法適用会社全6社、その他2社）を範囲とし、冊子と WEB の2部構成としています。WEB 版（<http://www.jsr.co.jp/csr/csrreport2012.shtml>）では、冊子版の内容に加えて、CSR マネジメント、レスポンシブル・ケア（環境・安全・健康）、ステークホルダーに対する責任について具体的な取り組みを詳しく報告しています。

なお、報告書の信頼性を担保するため、日本レスポンシブル・ケア協議会による第三者検証を受審したほか、当社グループの取り組みに対する客観的な評価として外部専門家による第三者意見を例年どおり受領しました。2012年4月には、社会的責任投資（SRI）指標である「FTSE4Good Index Series」の組入れ銘柄として9年連続で選定されるなど、CSR に関する当社の取り組みは国内外で高く評価されております。

「JSR グループ CSR レポート 2012」に掲載した最近1年間の主な活動実績

1. グローバルな課題に対する取り組み

世界的な二酸化炭素排出削減に対する認識の高まりを反映して低燃費タイヤへの需要が増加していることを受けて、JSR は、安全性を維持しつつタイヤの転がり抵抗を低減できる溶液重合 SBR の供給体制を計画的に整えていきます。

2. CSR 調達の取り組み

サプライチェーンにおける CSR 活動の実践・推進を目指し、国内外の取引先について、原料資材の購買金額で95%までカバー範囲を広げて調査を実施しました。また、工事関係取引先まで対象に加えました。

3. 社会貢献分野における新たな取り組み

教育支援活動の対象を拡大し、新たに半導体産業の工業団体 SEMI 主催のハイテクユニバーシティ（高校生対象）を四日市工場で開催しました。また、昨年発生した東日本大震災に対し、社員有志（延べ203名）による被災地での復興支援ボランティア活動を実施しました。

4. 生物多様性方針の策定

「経営方針」の中で掲げた生物多様性保全への積極的な貢献に関して、新たに JSR グループとしての方針ならびに具体的な活動計画を策定し、取り組みを始動させました。特に、工場および研究所の土地の利用に関して、当社もメンバーとして開発に関わった JBIB(*)の「いきもの共生事業所推進ガイドライン」の「土地利用通信簿」を活用し各事業所敷地の生物多様性への配慮度合いを 100 点満点で定量評価し、改善につなげて行く取り組みに着手しました。

*JBIB：一般社団法人「企業と生物多様性イニシアチブ」(Japan Business Initiative for Biodiversity) の略称。

以上



JSR グループ CSR レポート 2012 (表紙)

この件に関するお問い合わせは

JSR (株)

CSR部

宮本 TEL : 03-6218-3518

広報部

亀井 TEL : 03-6218-3517